

地下鉄沿線のまちづくり

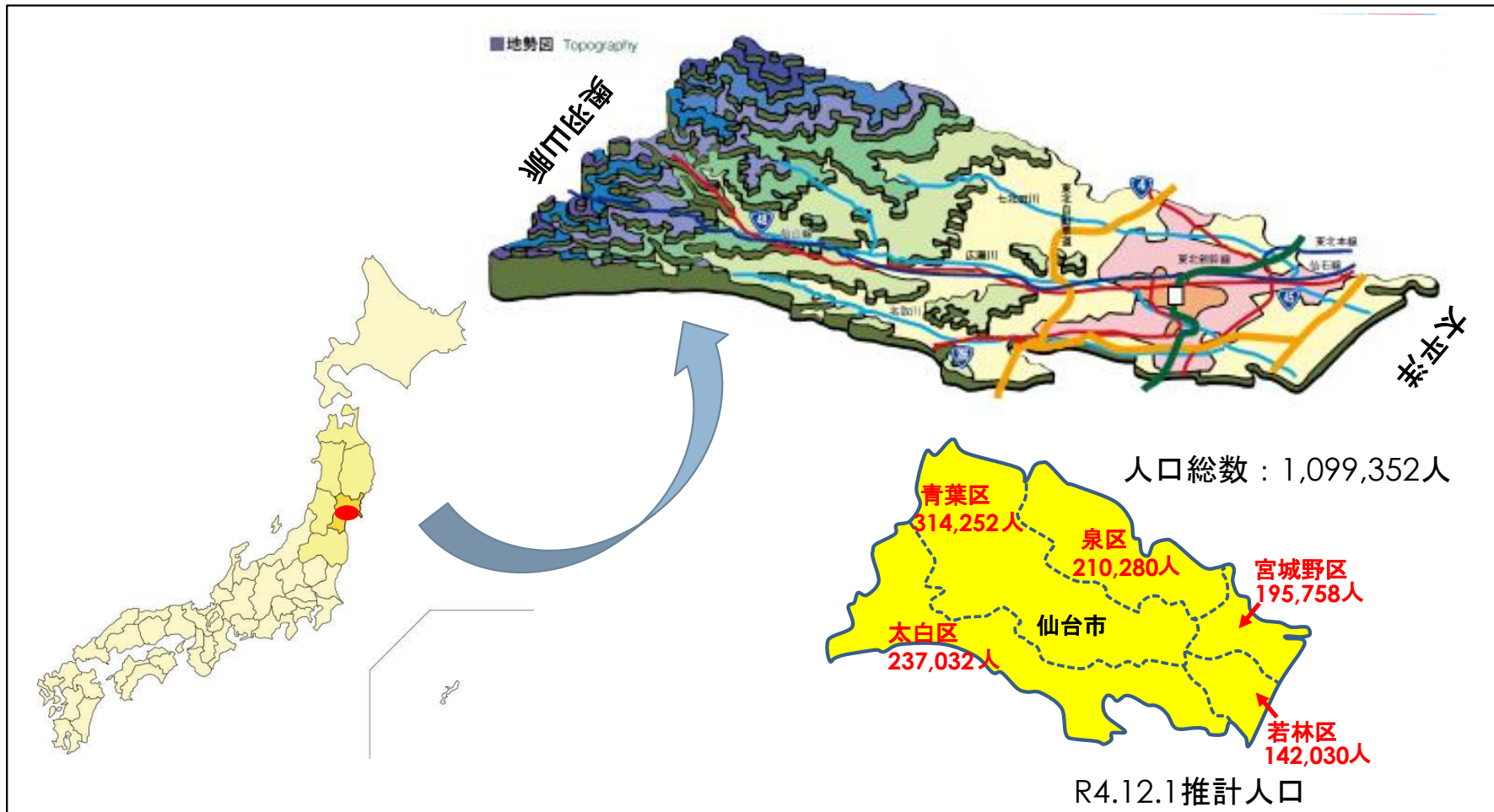
～関わる人々との連携した取り組みを進めていくために～



宮城県仙台市 地下鉄沿線まちづくり課

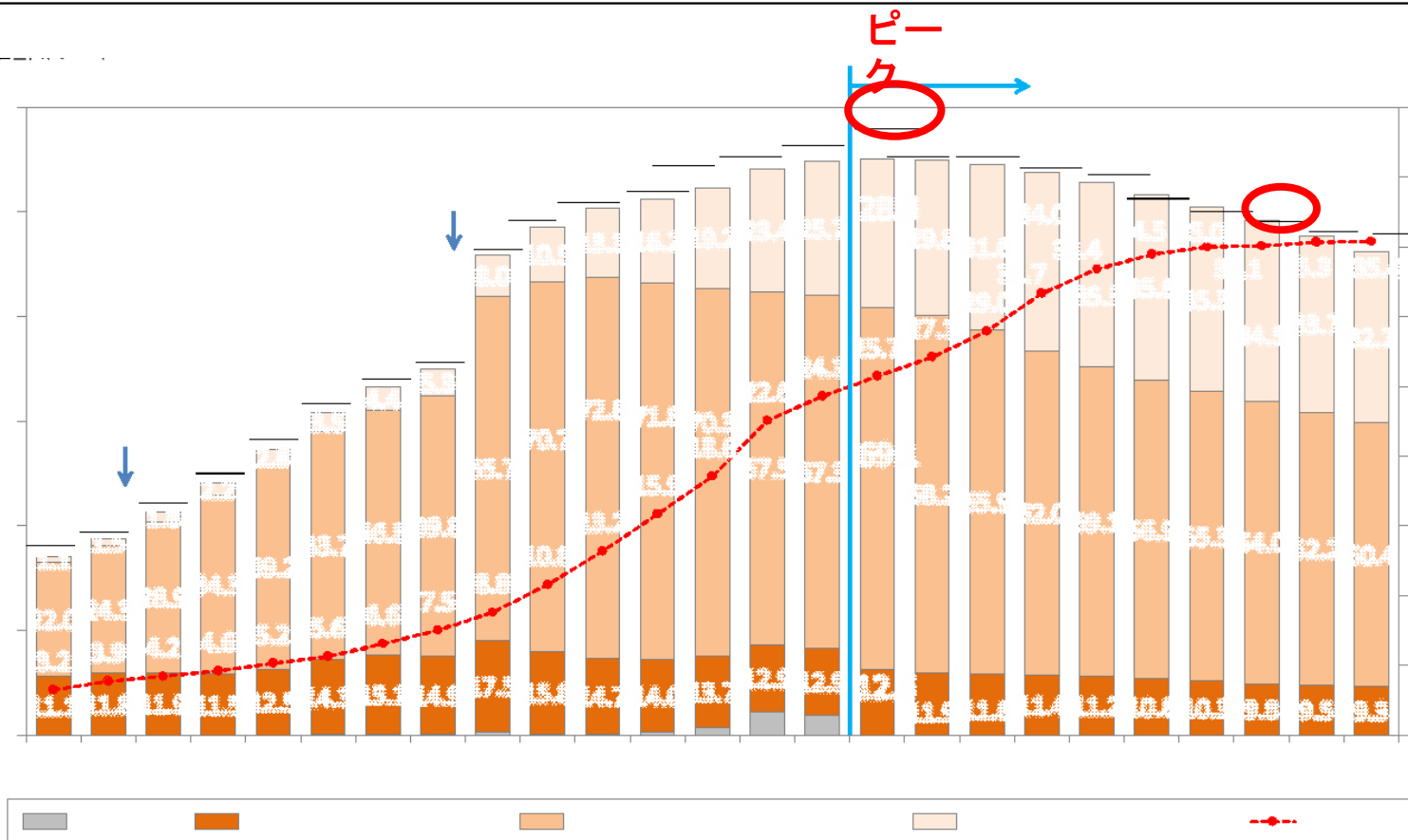
1. 仙台市の概況

- ・ 市域面積の約6割を森林、東には広い丘陵地、広瀬川など複数の太平洋にそそぐ河川により形成された河岸台地や段丘のうえに発達した都市。
- ・ 令和4年12月における推計人口は約110万人。



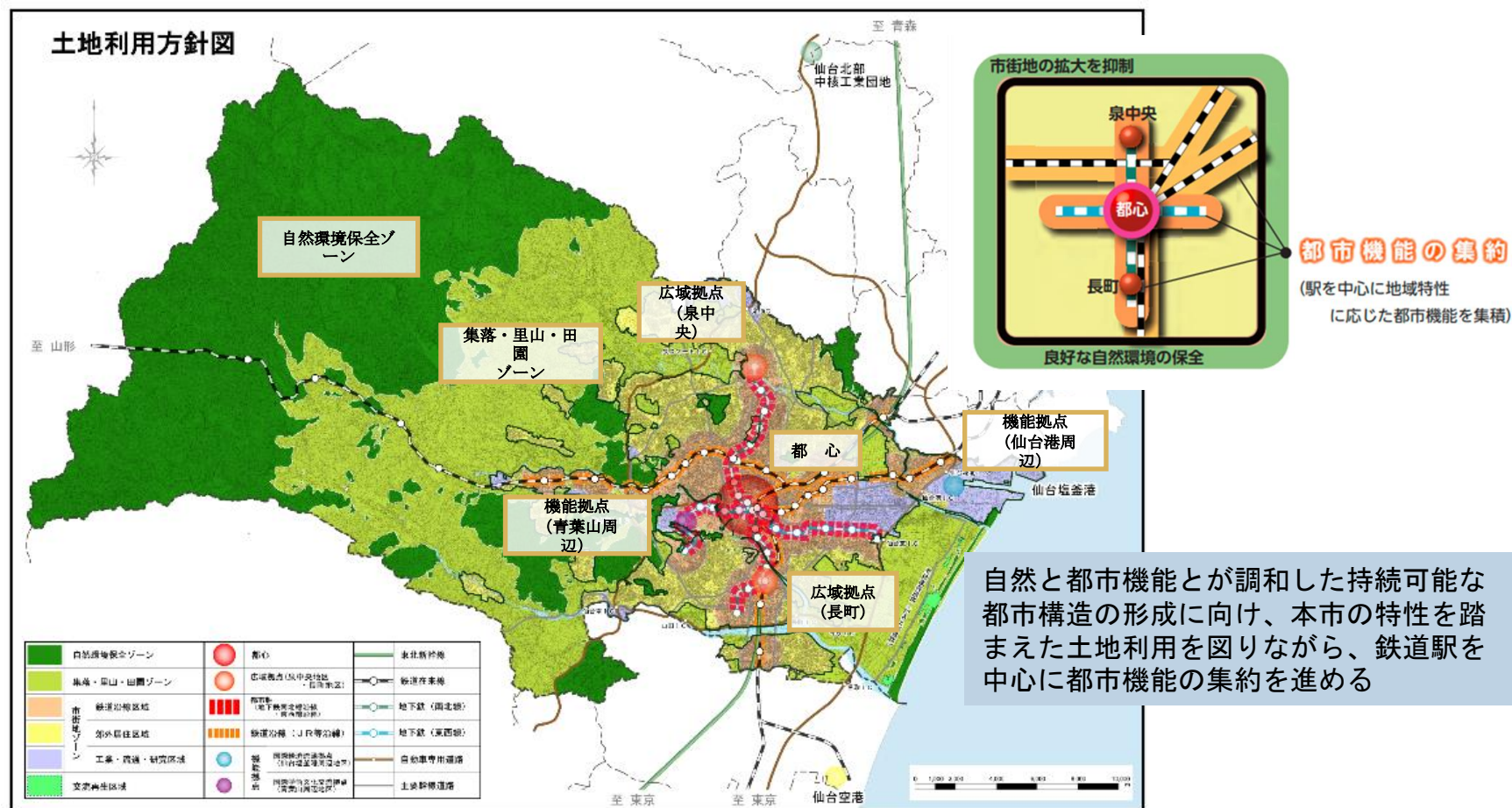
2. 仙台市の将来人口推計

- ・ 2025年前後にピークを迎え、その後減少局面に転じ、2055年から2060年頃にかけて100万人を下回ると推計。
- ・ さらなる年少人口と生産年齢人口の割合低下や高齢人口の割合上昇が見込まれる。



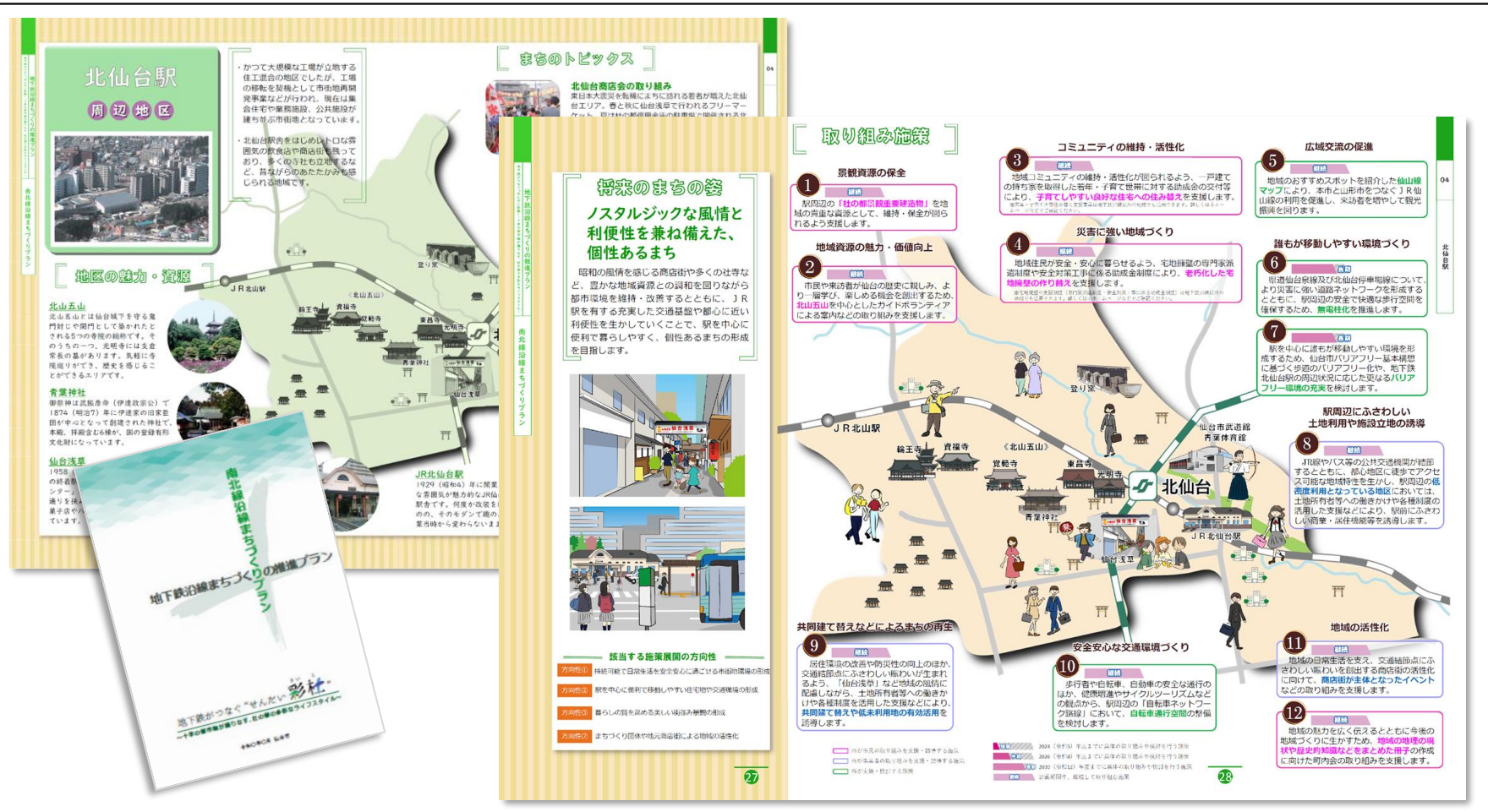
3. 仙台市の土地利用の基本的な考え方

- ・市街地の拡大は抑制し、都心・広域拠点（泉中央・長町）・地下鉄沿線・鉄道沿線に都市機能を集約。
- ・地下鉄沿線を都市軸として、それぞれの地域特性に応じたまちづくりを進める。



4.地下鉄沿線まちづくりの推進プラン

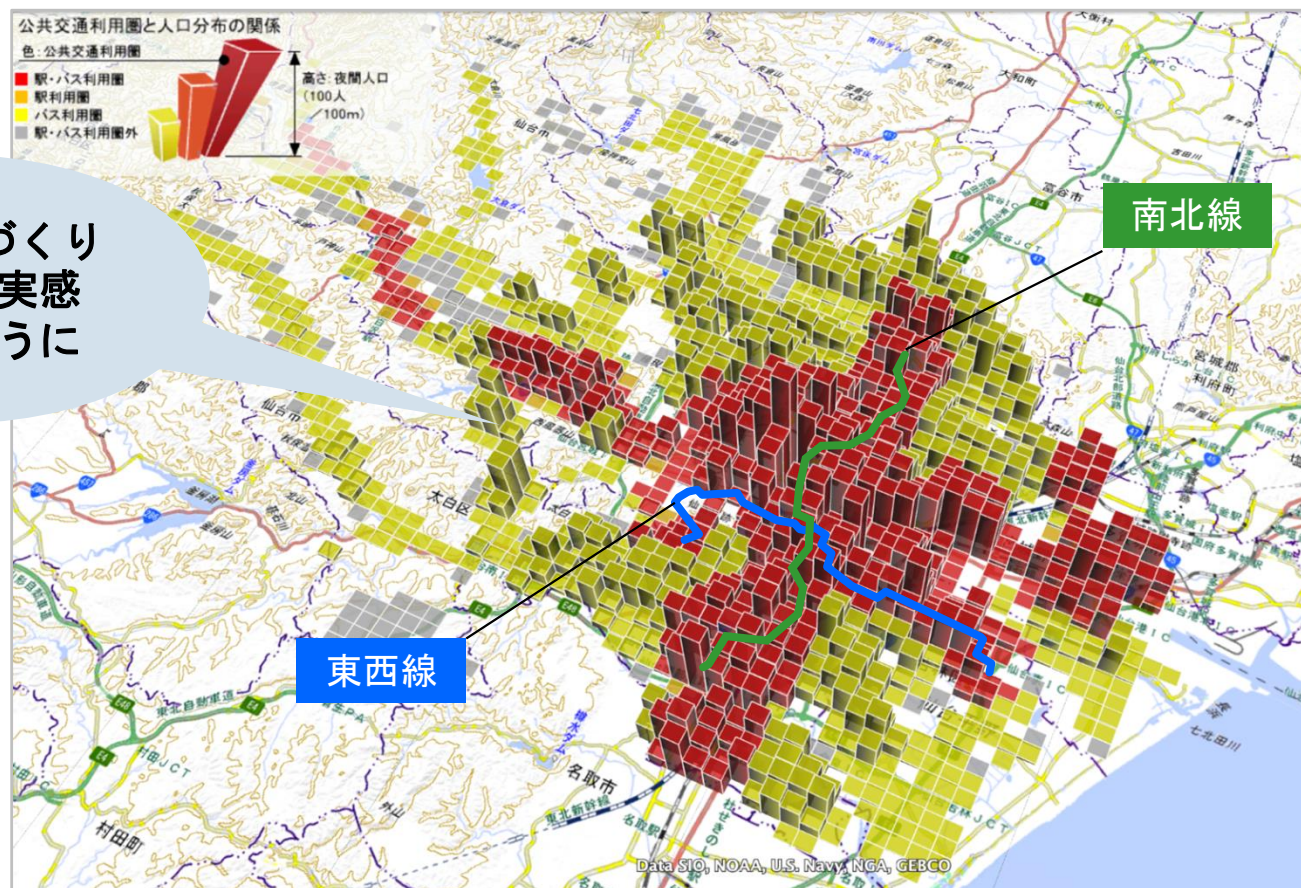
- ・ 市民・事業者の皆様と連携したまちづくりを進めるため、各地区の将来のまちの姿やそれに向けた具体的な取り組み施策を示す。
- ・ 沿線まちづくりによる効果や新たな課題を的確に把握するために、評価指標により評価。



4.沿線まちづくりの進展を可視化

- ・プランでは沿線人口や地価、地下鉄利用者数などの評価指標として設定し5年毎に評価。
- ・数値だけではまちづくりが進展しているか分かりづらいことから、経年的な変化が直感的に認識できるよう、今後可視化を検討。

沿線まちづくり
の進展が実感
できるように



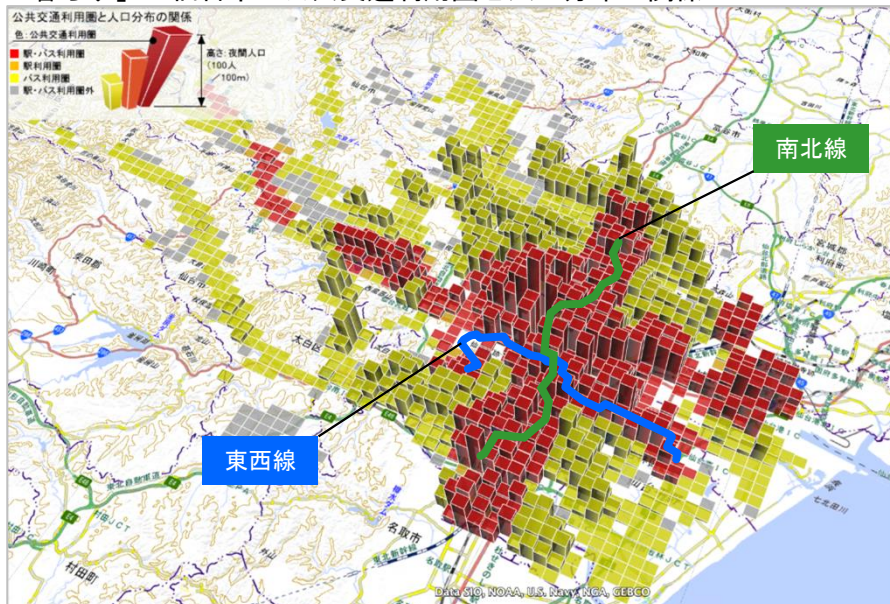
補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

5.方針に関連する数値の可視化を検討

- ・沿線まちづくりは「暮らす」、「働く」、「学ぶ・楽しむ」の観点から3つの方針を設定。
- ・方針に関連する様々な数値を可視化し、その経年変化をまちづくりの関係者に対し情報提供することにより、今後のまちづくりへのモチベーションとしていく。

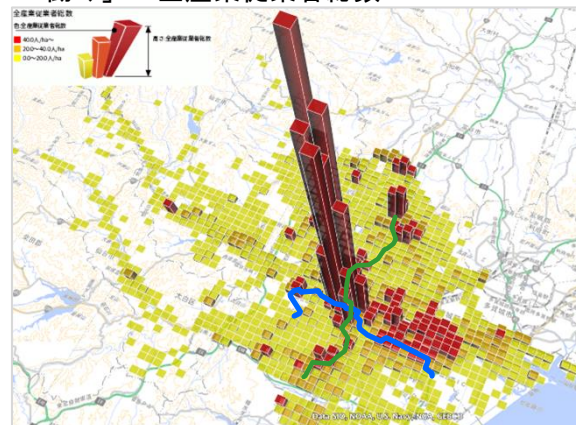
例えば・・

「暮らす」：仙台市の公共交通利用圏と人口分布の関係

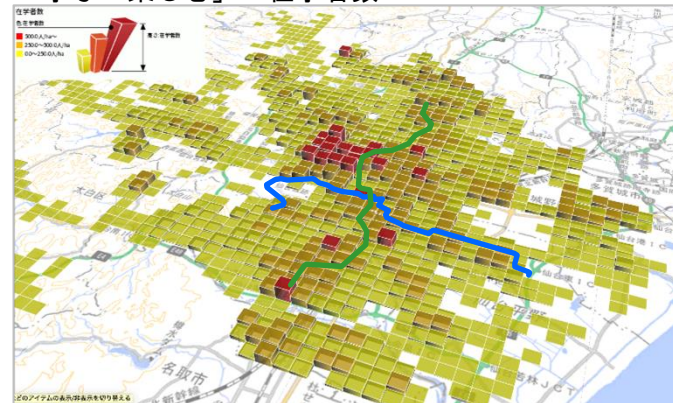


補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

「働く」：全産業従業者総数



「学ぶ・楽しむ」：在学者数



ぜひ、仙台市にお越しください！



仙台城跡
伊達文化を体感

伊達氏将軍
伊達政宗





伊達氏将軍
松尾宿禰

仙台七夕まつり

伝統の「祭」と多彩なイベント



牛たん焼き

伊達氏将軍
支倉六右衛門常長

伊達美味（だてうま）！DATEUMA

第40回全国都市緑化仙台フェア
未来の杜せんだい2023
～ Feel green! ～
2023.4.26^[水] ▶ 6.18^[日]

地下鉄南北線3000系車両
A案の「南北線車両からの進化」に決定!!





